



所長コメント

世はまさにゆるキャラ時代、有名なところではくまモン、ふなっしー、カープのスマイリーなど

それではと我が業界もゆるキャラを作りました。とかくつつきにいく、硬いイメージのある税を少しでも身近にするために考えました。税金(タックス)にちなんで、タッキーと名付けました。今後、税理士記念日(2月23日)、税を考える週間(11月11日~17日)や確定申告時期などちょこちょこマスコミに登場すると思います。

また最近小学校から大学まで、租税教育に国も我が業界も

力を入れています。その場でも活躍してくれることでしょう。着ぐるみの中は若手の税理士が入っているが、前が見づらく、小さい子供が近寄ってもわからないとのこと。ちなみに制作費用は70万円。結構するものですね。

アメリカのオバマ大統領も、次期候補のトランプ氏もある意味アメリカを動かす議会やユダヤのゆるキャラかもしれません。

ゆるキャラに惑わされて、本質を見失わないようにしないといけませんね。

社長の仕事 税理士 大場史郎

石坂典子さんをご存知ですか？

最近経済番組とか、ビジネス雑誌によく登場する女性経営者です。しかも業種が産業廃棄物の中間処理、産廃業者という意外性がある。そして美人と来てるから余計マスコミ受けする。

広島商工会議所で4月から7月にかけて、夕学(せきがく)研修と称して10回ほど勉強会をやっている。刺激になればと申し込んだ。東京の会場からインターネットで全国に同時配信する。その中の講師の一人です。父親が経営する石坂産業を30歳の若さで引き継いだ2世経営者だ。埼玉県所沢で、東京都内から運ばれてくる建設関係の廃材を処理するのが主な仕事だ。

かつて1999年に所沢の野菜からダイオキシンが検出されたと言ってニュースステーションで報道されて大きな問題になった。当時、ゴミは埋立てする場所が無くなったので、ほとんど焼却処理していたが、ダイオキシン問題が起り、焼却温度を800℃から1300℃に上げるために業者や自治体は多額の投資を必要とされた。

結局これはテレビ朝日の誤報で2004年に和解が成立している。しかし、その間「ダイオキシンが発生するのは石坂産業のせいだ、石坂産業出ていけ」の地元住民の反対を受けた。「このままではいけない。地域に必要とされる会社になりたい。従業員が自分の子供に誇れるような会社に変えたい」との思いで、「社長をやらせてください」と父親に申し出た。

「この仕事は女には無理だ」と、最初は反対されたが、ついに

根負けして、1年と任期を区切って任された。実際はそれから今日まで続けているのだが。

社長になってまず産廃ごみの焼却を止めて、徹底したリサイクルをめざした。今ではリサイクル率は95%を達成しているとのこと。市街化調整区域にある作業場に大きな講堂のような建物を建てて、その中で処理し、外に粉塵、騒音等が漏れなくする。建物を建てる許可を得るのに1年かかったそうだ。売上20億の会社で40億の借入をしたそうだ。

当初は地元民から石坂サティアンと揶揄された。入れ墨を入れた従業員、道具を放り投げて大事にしない職員、ガムを噛みながら作業する従業員などに3S(整理、整頓、清潔)を徹底して指導したとのことだ。ゴミを持ってくる搬入業者に、待っている間、NO(アイドリング、くわえたばこ、威嚇、タッチペン)を文句を言われようが守らせた。

(トレンドに続く)



「産廃屋」なのにホテル？

「産・産廃屋」へ、しがらみをキャパリ踏で、父や社員を格闘！見捨てられた里山を宝の山にし、全国から見学者が殺到中！
 トヨタ、全日空、中南米・カリブ10か国大使……
 今、世界中が注目の経営者、初の著書！